

## 編集後記

先日、ニューヨークへ行くことがあり、ニューヨーク公共図書館へ立ち寄ってみました。正面玄関の前には、大きな2つのライオン像があり、1930年代の世界恐慌時にはそれぞれ"Patience(忍耐)"と"Fortitude(不屈の精神)"というニックネームがつけられたそうです。当時のニューヨーク市民には、これら2つの資質が必要だったからだそうです。今回初めて、微力ではありますがこの会誌の編集に携わったものの、なかなかうまく進めていくことが出来ない、私自身へのメッセージでした。そんな私に、丁寧に教えてくださった、先輩方、役員の皆様へ深く感謝いたします。そして執筆者の皆様にお礼申し上げます。

(姫路 岡本)

### 関西地区 編集部メンバー(順不同)

小林(金沢)・山本(引佐)  
 飯田(名一)・宮岡(名二)  
 木下(高山)・中辻(長浜)  
 乾(大阪)・上成(高槻)  
 池田(京一)・川野(京二)  
 鳥淵(和歌山)・藤(神戸)

大変発行が遅くなりました。全て私のせいです。申し訳ありません…。

最近、ようやく下の娘の夜泣きがおさまったのでぼちぼち県図書館へ通って、読書に動んでいます。東野圭吾、乃南アサ、江國香織、野沢尚などが好きですが、他に何かオススメがあったら教えてください。また趣味が合いそうな方いませんか！語り合しましょう。メール待っています(笑)。

(岐阜 江口)

コンソーシアム、ポータルサイト、リポジトリ。カタカナ語が苦手な私は、実務担当者の委託主事が書く「図書室だより」から知識の提供を受けています。チーム医療推進の要は学術情報の提供を担う図書室担当者なのかもしれません。

彼女(本誌投稿原稿共同執筆者)のお陰で教育機能を持つ図書室として機能しています。

(山田 小林)

会報第15号は新しい編集体制の下、新鋭の編集委員の方々にご活躍いただき発行の運びとなりました。編集委員の皆様、本当にお疲れさまでした。また、著者の皆様、会報発行にご協力下さいました皆様にも厚くお礼申し上げます。今後も会報が、会員相互で協力しあい、学びあう場となることを望んでおります。

(浜松 飯田)

病院図書室勤務に就いて1年が経とうとしています。一人では何もできない非力な司書ではありますが、全国各地の赤十字病院図書室とネットワークが繋がっているおかげで皆様に助けていただいて何とかやってきました。ありがとうございます。

私は旅行が好きなのですが、見知らぬ土地で日頃お世話になっている赤十字病院や総合病院や大学の名前を見つけるのも旅の楽しみの一つになりました。

(大津 深井)

## 日赤図書館雑誌

第15巻 第1号(通巻20号) 平成21年3月1日(年1回)

編集役員 江口 加奈(岐阜赤十字病院図書室)  
 岡本 美春(姫路赤十字病院図書室)

編集委員 関西ブロックメンバー

印刷所 カサイ製版株式会社

発行 日赤図書室協議会

事務局 前橋赤十字病院図書室  
 〒371-0014 群馬県前橋市朝日町三丁目21-36  
 TEL 027-224-4585 FAX 027-223-9307(図書室)  
 日本赤十字社和歌山医療センター図書室  
 〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20番地  
 TEL 073-422-4171 FAX 073-421-8031(図書室)

年会費 個人・機関：¥4,500 定価：一部¥1,000